

分野 (領域)	専門基礎分野	科目名	薬理学		
単位 (時間)	1 (21時間)	開講時期	1年次	2年次	3年次
講師	外部講師				
科目目標	1. 薬物の種類・特徴・作用機序・副作用について理解できる。 2. 薬に関する法律と取扱いが理解できる。				
<b>【講義内容】</b> <b>第1部 薬理学総論</b> 第1章 薬理学を学ぶにあたって A. 薬物による病気の治療 B. 薬物学とはなにか 第2章 薬理学の基礎知識 A. 薬が作用するしくみ B. 薬の体内挙動 C. 薬物相互作用 D. 薬物の個人差に影響する因子 E. 薬物使用の有益性と危険性 F. 薬と法律  <b>第2部 薬理学各論</b> 第3章 抗感染症薬 A. 感染症治療に関する基礎事項 B. 抗菌薬 C. 抗真菌薬・抗ウイルス薬 D. 感染症の治療における問題点 第4章 抗がん剤 A. がん治療に関する基礎事項 B. 抗がん薬各論 第5章 免疫治療薬 A. 免疫系の基礎知識 B. 免疫抑制剤 C. 免疫増強薬・予防接種薬 第6章 抗アレルギー薬・抗炎症薬 A. 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 B. 炎症と抗炎症薬 C. 関節リュウマチ治療薬 第7章 抹消での神経活動に作用する薬物 A. 神経系による情報伝達 B. 自律神経系差作用薬 C. 交感神経作用薬 D. 副交感神経作用薬 E. 筋弛緩薬・局所麻酔薬 第8章 中枢神経系に作用する薬物 A. 中枢神経系の働きと薬物 B. 全身麻酔薬 C. 睡眠薬・ 抗不安薬 D. 抗精神病薬 E. 抗うつ薬・気分安定薬 F. パーキンソン症候群治療薬 G. 抗てんかん薬 H. 麻薬性鎮痛薬 I. 片頭痛治療薬 第9章 循環器系に作用する薬物 A. 降圧剤 B. 狭心症治療薬 C. 心不全治療薬 D. 抗不整 脈薬 E. 利尿薬 F. 脂質異常症治療薬 G. 血液凝固系・線溶系に作用する薬剤 H. 血液に作用する薬剤 第10章 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 A. 呼吸器系に作用する薬物 B. 消化器系 に作用する薬物 C. 生殖器・泌尿器系に作用する薬物 第11章 物質代謝に作用する薬物 A. ホルモンとホルモン拮抗薬 B. 治療薬としてのビタミン 第12章 皮膚科用薬・眼科用薬 A. 皮膚に作用する薬物 B. 眼科用薬 第13章 救急の際に使用される薬物 A. 救急に用いられる薬物 B. 急性中毒に対する薬物 第14章 漢方薬 A. 漢方医療の基礎知識 B. 漢方薬各論					
<b>【テキスト／参考文献】</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2] 薬理学 第1部 第2部第1章 ～第14章					
<b>【評価】</b> 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする					